



2021年11月8日

各位

会社名 株式会社 ひろぎんホールディングス
代表者名 代表取締役社長 部谷 俊雄
(コード番号 7337 東証第一部)
問合せ先 経営企画部 経営企画グループ
主計課長 内田 一弘
(TEL 082-245-5151)

債権の取立不能又は取立遅延のおそれに関するお知らせ

当社子会社の株式会社広島銀行及びひろぎんリース株式会社の取引先である株式会社神田造船所に対する債権について、下記のとおり、取立不能又は取立遅延のおそれが生じたので、お知らせします。

記

1. 当該取引先の概要

- | | |
|-----------|--------------------|
| (1) 名称 | 株式会社神田造船所 |
| (2) 所在地 | 広島県呉市川尻町東2丁目14番21号 |
| (3) 代表者氏名 | 神田 慎一郎 |
| (4) 資本金 | 65百万円 |
| (5) 事業の内容 | 船舶製造修理業 |

2. 取立不能又は取立遅延のおそれが生じた経緯

当該取引先は、新造船建造事業の撤退及び船舶修繕事業への特化を骨子とした事業再生計画を策定中ではありますが、取引金融機関に対して債権放棄等の金融支援要請を行う可能性が高まったものです。

3. 当該取引先に対する債権の種類及び金額 (2021年11月8日現在)

| | | |
|---------|----------|-----------|
| 広島銀行 | 貸出金 | 10,178百万円 |
| ひろぎんリース | リース投資資産等 | 3百万円 |
| 合計 | | 10,181百万円 |

4. 今後の見通し

上記債権につきましては、担保・引当金等により全額保全されております。

2022年3月期通期の連結業績予想につきましては、本日、「2022年3月期 第2四半期(中間期)決算短信」において公表しておりますとおり、本件に関わらず、上方修正しております。

5. その他

今後もメイン行として、新造船建造事業の撤退及び船舶修繕事業の継続に必要な支援を行う方針です。

以上